



成果指標				
成果指標	金融難を緩和し、企業の育成及び経営の安定と近代化に努める。			
指標設定の考え方	融資件数により、中小企業の経営状況の把握を行う。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標22年度
目標	1000%	700%	1000%	0
実績	500%	1000%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	景気の回復に向かっているのか、利用実績が昨年度に比べ2倍の増加となった。今後も中小企業者の経営の安定化を図るため、金融機関と連携協力するとともに、資金融資関係パンフレットを作成し、広く周知に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	アベノミクスにより、国内において大手企業の景気回復は顕著に現れているようであるが、中小企業においてその効果は感じられない。特に、地方への恩恵は皆無であるといってもおかしくない状況下である。そのためにも本事業への期待度は大きく、今後も一層の継続を必要とするであろう。特に、消費税増税における影響は顕著に受け、厳しい状況であるために継続した支援が必要であると考えられる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会の抽出事業により、外部評価に諮ることとする。

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・中小企業への資金融資はあくまで金融機関の仕事であり、市は紹介や相談に乗るくらいに留める方がいいと思う。・中小企業の業者にとって、低金利で手続きも楽なこの制度は非常に必要だと思う。積極的にパンフレットを配ってでもやるという意気込みでやっていただきたい。・この事業自身は非常に大事である。各市で実施しているが、実際は商工会議所に審査等全部委託しており、市の担当者は直接タッチしていない。商工会議所も広告はしているのだが、市も利子補給も含めたこういう事業だとPRしていただきたい。・25年度までの金利0.3%マイナスの優遇措置がなくなったということであった。普通貸付利率自体に幅ができて適用基準がわからないということであるが、幅を持たせたものから、さらに0.3%引けば簡単な話ではないのだろうか。・成果指標は件数だけでなく、貸付総額が限度額の500万円×10件なのかどうか、具体的に記載があれば、もう少しリアルに伝わるのではないか。</p>
---------------------------	---

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>現状のまま継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	